
付録

学生センターではみなさんの学生生活をサポートしています!

法政大学学生センターでは、他大学には見られない様々なキャンパスライフを充実させる取り組みを行っています!

◎課外教養プログラム あなたの知的好奇心を満たす場がすぐそばにあります!!

Point 1 正課授業では扱いきれない領域をカバーしています!

普段馴染みのない東ヨーロッパ地域について新たな学びのきっかけ作りをしたい!という学生のアイデアから「パスポートのいらないブルガリア」を実施しました。プログラムでは、日本とブルガリアの歴史的な関係や交流についてレクチャーを受けた後、実際にブルガリアで伝統的に食されている料理やお茶の試食会やブルガリアの伝統衣装の試着体験を行いました。当日は多くの学生が参加し、初めて目にするブルガリア料理や伝統衣装を前にして記念撮影を行ったり、それぞれの好きな料理の紹介を行ったり活発に交流する姿が見られました。このように参加者間の交流が活発なことも課外教養プログラムの大きな特徴です。

Point 2 参加しやすい! だから、年間延べ3,000名の学生が参加するんです。

プログラムのほとんどが学内で実施されています。授業のコマに合わせて実施していますので、授業と授業の間の「空きコマ」を有効に使えます。隙間時間楽しく教養を身に付けませんか?

Point 3 本気で学びたい!と思う学生が、自主的に受講します。

その名の通り、「課外教養プログラム」は正課外ですので、受講しても単位にはなりません。だからこそ、「学びたい!」という強い意欲を持った学生が自主的に参加します。他学部の学生と一緒に学んで学ぶことで、新たな発見もあるでしょう!

Point 4 「参加者」から「運営者」に!

「課外教養プログラム」に参加して、「今度は自分がプログラムをつくってみたい!」と思ってくれたあなたには、つくり手(=KYOPROスタッフ)になる道があります!学年は関係ありません。いつでも、スタッフになることができます!



「私が教えます!」

みなさん自身の取り組み、特技、資格、活動を通じての成長、失敗談などを紹介してみませんか?

みなさんにしかできないことがあります!

法政大学には、約28,000名の個性あふれる学生がいます。特技、スキルをもった学生、何かに一生懸命取り組む学生、学外で表彰を受けた学生。多種多様な「能力」や「力」。あなたが主役です!

みなさんのもっている「知」をまこう!

自身の経験を自らにとどめることなく、他の学生に惜しみなく伝え、役立ててもらおう。エンターリーする学生は「知をまこう」という、ピアサポートスタイルに共感してくれたみなさんです。

将来の方向性が見つかる!

参加者からは、「大学に入学して将来どのように生きていくか特に考えずに過ごしてきたが、プレゼンターの話を通じて将来の方向性を考えるきっかけとなった」などの感想もあります。



「私が教えます!」実施までの流れ

1 「私が教えます!」エントリーシートに記入し、学生センターにエントリー!



2 学生センター会議にて審査



3 審査を通過すれば実施決定!!



主なエントリープログラムについて (2017・2018年度実施プログラムより)

「シンクロの魅力! 世界水泳選手権の銅メダリストが教えます!」



河野さん(スポーツ健康学部3年)

「中国人留学生が伝授! 日本にいながら中国気分を味わえる方法、私が教えます!」



黄さん(文学部1年)

「バラスポーツの魅力! 東京2020を目指す私が教えます!」



山下さん(スポーツ健康学部3年)

「課外教養プログラム」や「私が教えます!」に参加するには...

掲示板やホームページをチェック!! 参加したいプログラムがあれば、学生センターで応募しよう! (一部プログラムはWeb応募も実施中)

■お申し込み・お問い合わせ

市ヶ谷学生生活課(外濠校舎1階)
多摩学生生活課(EGG DOME2階)
小金井学生生活課(管理棟1階)

☎ 03-3264-9475
☎ 042-783-2152
☎ 042-387-6011



■最新情報

URL: <https://www.hosei.ac.jp/gakuseishien/>



KYOPROスタッフによるTwitterもやっています!

●市ヶ谷



●多摩



●小金井



課外教養プログラムプロジェクト

Q

課外教養プログラムプロジェクトとは？

A

正課授業で補いきれない法大生の多様なニーズに応える企画です。学生の興味に沿ったテーマで学生の学びを支援します。文化や歴史など普段の講義の+αをして活用できるテーマから、DIYやスポーツ観戦など学生の視点を広げるテーマまで、多くのテーマで企画を作っています。3キャンパスそれぞれで企画を行っており、他キャンパスの企画にも参加することができます。講義では出会えない他学部・他学科の学生と交流の場にもなります。



column

課外教養プログラムプロジェクトができるまで

学生スタッフが法大生の学習支援になるようなテーマを考えます。話し合いを行い、「学生が企画を通して何を学ぶのか」を明確にしていきます。



テーマ決定



企画書作成

大学に提出する企画書を作成します。大学職員や、学生スタッフが添削を行い、企画内容が伝わる企画書を書きあげます。



企画内容に沿った講師を探し、メールで連絡を取ります。講師の方に快諾いただいた場合は、実際に会って打ち合わせを行います。



講師選び



参加者募集

企画の実施が決まったら、法大生に向けて企画の宣伝を行います。企画ポスターを作成して掲示したり、法大生に向けて一斉メールを送ったりして参加者を募ります。また、学生スタッフが運用しているSNSでも宣伝を行います。



講師の方をお迎えし内容に沿ってお話しいたぎます。企画にグループワークを盛り込むことで交流の場所としても機能する企画となっています。



企画実施



過去に行った企画

自分を高める

自分の意見を正しく伝える
博報堂スピーチライター直伝！
”伝わらない”をなくす話し方の極意

未来を見据える力をつける
将来のニーズをとらえる力
～未来を見据える術はここにある！

理解を深める

江戸社会から環境問題を考える
先人は凄かった！総長と学ぶ
江戸ロジー

御前会議を再現！
ディベートで学ぶ日米開戦

「好き」を生み出す

新しい形の読書を提案
“読まない”読書 ～本文を読む
だけじゃない読書のヒミツ

美術の知識がなくても楽しめる
学校では教えてくれない絵画の秘密

視野を広げる

身近な雑草の魅力を再発見
あなたの身近な植物図鑑

日本の「古き良き」を再確認
神々の国のガイドブック
～古の日本を探検しよう～

法政大学を知る

3 キャンパスを一度に訪問
3 キャンパスバスツアー

法大生を応援しよう！
東京六大学野球応援
—法政スポーツを応援しよう—

人と関わる

人間関係の不安を払拭！
大学生からのコミュニケーション

国境を越えてつながる
法政大学 × サラエボ大学
オンライン学生交流会

KYOPRO
スタッフ
募集中！

「私たちと一緒に企画を作りませんか？」

KYOPRO スタッフは課外教養プログラムを企画・運営する学生スタッフの団体です。活動を通じて、「参加者間の交流」や「学びのきっかけづくり」をサポートすることを目的とします。よりよい企画提供のために、スタッフ同士が協力して高め合い、一緒に成長できる環境になっています。





KYOPRO presents

新型コロナウイルス感染拡大防止のための 4つのミッション



MISSION 01 マスク着用

会話だけでも1m程度飛沫は飛び散ります。
マスクに触れたら、消毒・手洗いをしましょう。



MISSION 02 消毒・手洗い

ドアノブ、エレベーターのボタン、吊り革、スマホなどを触った後はこまめに消毒・手洗いをしていますか。モノに触る前、触った後は必ず消毒・手洗いをしましょう。



MISSION 03 ソーシャルディスタンス

コンビニの列や駅ホームの乗車列などでは、無意識に距離が近づきます。意識的に人との距離を取るようにしましょう。



MISSION 04 食事中の大声での会話は控えよう

会話をしながらの飲食は、飛沫感染リスクが高くなります。友人と集まっての食事は控えましょう。

COVID-19

あなたの感染予防対策 間違っていないですか？

詳しくは裏面へ→→→

新型コロナウイルスの基礎知識

※1
※4

流行しているCOVID-19を引き起こすのはSARS-Cov-2というウイルスです。SARSやMERSとおなじ、重症化しやすいコロナウイルスの一種です。コロナウイルスには7つの種類があり、一般的な風邪症状を引き起こすものもあります。

正式名称	COVID-19 (ウイルス名はSARS-Cov-2)
発生場所	中国 湖北省 武漢
感染方法	飛沫感染・接触感染
生存期間	段ボールの表面で約24時間・プラスチックの表面で約72時間
潜伏期間	感染から発症まで、1日～12.5日ほど
主な初期症状	発熱・咳・倦怠感・味覚や嗅覚の消失等

感染症と予防接種の世界史



人間と感染症が2000年前からの付き合いなのはご存じでしょうか？長い感染症の歴史とともに、発達してきたのが予防接種です。予防接種は病気に対する免疫をつけるためにワクチン（抗原）を体内に接種する医療法の事です。予防接種で体内にワクチンを取り込み、感染症に備えるのです。予防接種の原理は中世から理解されていましたが、当時の予防接種は命の危険が伴っており、安全に行うことは難しかったそうです。しかし18世紀以降、天然痘ワクチンを発見したエドワード・ジェンナーや、狂犬病のワクチンを開発したルイ・パスツールなどの研究者によって、ワクチン開発や予防接種の研究が進められ安全性が確保されたことや、イングランドやウェールズなどで予防接種を義務化する法律が制定されたことによって予防接種が普及していきました。

※2

正しく使って、しっかり予防！

※3
※5
※6

手洗いの時に石鹸を使っていますか？コロナウイルスを十分に落とすには水洗いだけでは足りません。コロナウイルスは表面が脂質で覆われているエンベロープウイルスに分類されます。これは、食器の油汚れのようなものです。石鹸はコロナウイルスの脂質性の膜にくっつき、脂質の成分を引き剥がす効果があるためコロナウイルスを不活性化することができます。

また、手についたコロナウイルスに有効な手段として、消毒があげられます。手指消毒用アルコールに使われているエタノールは脂質の膜を壊しウイルスを不活性化することができます。この消毒液は乾くときに効果を発揮するので、乾燥するまで塗り込まなければいけません。正しい手洗いと消毒で自分の身を守りましょう！

要注意！身の回りの感染リスク

身近な場所やものにも感染リスクは潜んでいます。 ※1
対策は十分ですか？ ※4

飛沫感染編

- 会話の時はマスクをつける
- 人との距離を最低でも1メートル保つ
- 電車やエレベーター等での会話に注意！
- 食事をしながらの会話は極力避ける

接触感染編

- 不特定多数の人が触れる場所に気をつける

新型コロナウイルス感染症は、飛沫だけでなくウイルスに触れることから感染する危険もあります。そのため、不特定多数の人が触れる場所ではできるだけ触らないように気を付けましょう。

ドアノブ 手すり 硬貨 つり革



課外教養プログラムプロジェクト (KYOPRO) スタッフ募集中！！

このポスターは、大学公認の学生団体 KYOPRO が作成しています。KYOPRO では学生の「知りたい！学びたい！」を支援する企画を発案・運営しています。詳しくはこちら→→→

※1 厚生労働省 HP ※2 日本 BD 社 HP 「天然痘ワクチンの開発者 エドワードジェンナー」：
<https://www.bdj.co.jp/safety/articles/ignazzo/1f3pro00000t725e.html> 日経電子版「ウイルス対ワクチン 実用化まで

苦闘の歴史」：<https://style.nikkei.com/article/DGXMZ058085510V10C20A4000000?page=2>

アダム・ハート＝デイヴィス総監修；日暮雅通、藤原多伽夫、山田和子翻訳（2011）「サイエンス大図鑑」河出書房新社

※3 新型コロナウイルス感染拡大防止のための教育資料 ※4 世界保健機関 (WHO)HP ※5 シャボン玉せっけん HP

※医療創生大学 HP (いずれも最終閲覧日 2020/8/21)

出典
参考



—法政大学 SGU 事業のお知らせ—

発行：グローバル教育センター 2021. 1. 15 No. 68

■海外留学と就職活動の両立イベントを開催しました

12月18日、1・2年生を対象に、オンラインにて「海外留学と就職活動の両立イベント」を開催し、175名の参加者がありました。

このイベントは、海外留学とグローバルキャリアに興味・関心のある1・2年生に対し、3つのメッセージを届けるために、キャリアセンターとグローバル教育センターが協働で企画しました。

1つ目は、コロナの影響により学生生活に制約がある中、「何もできない」と諦めるのではなく、今できることを見つけ、前向きにチャレンジすることの重要性について。2つ目は「今できること」の具体例として、グローバル教育センターが提供する、オンライン海外留学プログラム（海外派遣留学、短期語学研修、国際インターシップ、国際ボランティア）等の情報提供。3つ目は、それらの経験をどのようにグローバルキャリアに紐づけるかという点です。

イベントの後半では、学生の不安・悩みに向き合うため、じっくりと時間をかけ、質疑応答に対応しました。参加者からは「オンラインで海外留学プログラムに参加できることを知らなかったので良い機会になった」、「海外留学経験をどのように就活に活かせばよいか勉強になった」など好意的な感想が多数寄せられました。今後も学生のニーズに合わせた様々なイベントを実施し、充実した学生生活が送れるよう支援していききたいと思います。

【1・2年生対象】
海外留学と就職活動の両立

✓ 将来はグローバルに活躍したい
✓ 海外留学には興味はある…だけど就職活動が心配
✓ 法政大学の海外留学制度について知りたい

この人は参加してらー！

ガイドンスの内容

① グローバルに活躍するには（海外勤務経験職員による体験談）
② 法政大学の海外留学制度の説明（奨学金制度含む）
③ 海外留学と就職活動の両立
④ 質疑応答（提出し・声出し不要）+延長戦あり！！

グローバル教育センター職員



留学担当

キャリアセンター職員



就職担当

グローバル教育センターとキャリアセンターの職員が皆さんのお悩みにズバリお答えします！！

日程	12月18日（金）15:00～16:00
主な対象	1・2年生 ※3・4年生も参加可能
場所	オンライン（Zoom開催）
予約	情報ポータル⇒キャリア支援システムより事前予約（定員あり）※申込・予約方法については次頁（裏面）を参照
予約期間	11月24（水）12:00～12月17日（木）12:00まで

<申込・予約方法は次頁（裏面）をご覧ください>

<イベントの開催案内>

■釜山外国語大学とオンライン学生交流会を開催しました

12月22日と1月14日の両日、釜山外国語大学（韓国）とのオンライン交流会を開催し、計25名の学生が交流を深めました。

総長室付教学企画室では、オンラインで海外の大学生とコミュニケーションを図る「オンライン学生交流会」を実施しています。釜山外大との交流会は両大学が交互にファシリテーターを担いながら回を重ねており、1月は本学学生の大葎原沙羅さん（理工学部2年）がテーマの考案から当日の進行までを担当しました。

これまでは日韓の違いを比較するようなテーマが多かったのですが、12月は「自分の将来像・やってみたいこと」、1月は「コロナ禍のキャリアデザイン」といった将来に関するテーマを扱いました。将来というと就職を連想しがちですが、結婚や海外旅行、挑戦してみたいことなど多くの話題が飛び交い、様々な角度から考えられるテーマであることが確認できました。また事前に行ったアンケートを通じ、両大学の学生全員が「コロナによって将来に不安を感じている」ことが分かったため、それぞれの不安や悩みを共有するとともに、少しでも未来に希望をもってもらうことを念頭に置いてグルーブトークを行いました。

今回のテーマは学生にとって身近だったようで、「自分の考えていることを話し合うテーマだったから興味深かった」、「今何をすべきなのか、明確にキャリアについて考えることができた」などと大変好評でした。

総長室付教学企画室では、今後も様々な国の大学生とのオンライン交流会を企画していきますので、ぜひご協力ください。



<1月の交流会の様子>

■サラエボ大学との学生交流会を実施しました

12月19日、課外教養プログラム「法政大学×サラエボ大学(ボスニア・ヘルツェゴビナ) オンライン学生交流会」を実施しました。

今回の交流会は、学生センターの課外教養プログラムプロジェクト(KYOPRO)として行われており、横溝満里奈さん(経営学部経営戦略学科4年)をはじめとしたKYOPRO学生スタッフが一から企画を作り上げました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学生間の学びやコミュニケーションが失われていることや、過去の交流会においても東欧地域との関わりが無かったことが実施のきっかけとなっています。

プログラムの前半ではお互いの国で使用する漢字とキリル文字を用い、名前の意味を説明しながら自己紹介を行いました。後半には両国のお菓子を紹介し合い、普段は見ることの無いお菓子に興味津々の様子でした。

また、今回の交流会は日本語で行いました。サラエボ大学の参加学生は日本語を学んでいるために日本語での意思疎通が非常にスムーズで、法政の学生はこの事に驚いていたようです。どうして世界共通言語ではない日本語を学ぶのかという質問に対し、「学ぶことの利点ではなく、日本語の響きが美しいから」という回答は、何気なく日本語を使っている側にとって、日本の素晴らしさを再認識する良い機会だったと思います。短時間の交流でしたが、普段は着目されにくい東欧について考える第一歩になりました。



〈漢字とキリル文字を使用した自己紹介〉

■外国人留学生の対応について研修を実施しました

1月7日、多摩事務部で外国人留学生の対応について部内研修を行いました。今回の研修は、マスク着用や手指消毒などの感染症対策に十分配慮しながら実施しました。

様々な場面においてさらなるダイバーシティ化が求められる中、今後も増えていくと予想される外国人留学生にとって優しいキャンパスを作ることは、本学の課題の一つとなっています。このような状況の中で、今回の研修は「外国人留学生に対する大学職員の心遣い」についての理解を深めるためのものとして、実施されました。

最初は、外国人留学生として日本の大学に在籍していた職員から4年間の日本留学生活で困っていたこと、そして業務の中で関わっている留学生たちの悩みについて

講演がありました。その後、多摩グローバル担当の職員から、大学職員として外国人留学生に対応する際にはどのような配慮が必要になるかについて、ケーススタディを通じて説明がありました。研修を通じ、日本人学生にとっては当然のことで特別なサポートが必要ないことについても、外国人留学生に対しては細かい配慮が必要になる場合があるということ、あらためて認識できる機会となりました。



ここまでのまとめ

- ・留学生の「在籍状況」に変更のありそうな場合はグローバルにつなぐ！
- ・連絡が取れず、所在不明の学生がいる場合はグローバルにつなぐ！
- ・在留資格「留学」は大学に在籍しているだけでなく、大学で授業を履修していることが在留の条件！

上記に限らず「留学生フラグ」を常に意識！
少しでも不安があればグローバルに確認！



〈具体的事例を扱った研修会の様子〉

■全学 TOEIC®-IP が終了しました

今年度は初めての TOEIC® - IP オンラインを導入し、11月16日(月)～12月15日(火)の受験期間を設け、「学生の語学レベルの測定・把握、向上のための取組」として全学規模の TOEIC® - IP 試験を実施しました。

すべての学部・研究科の学生を対象(TOEIC® - IP 受験が必須となっている一部の学生を除く)としており、今年度の受験申込者数は3,244名(市ヶ谷キャンパス1,977名、多摩キャンパス1,032名、小金井キャンパス235名)となり、昨年の申込者数(3,072名)を上回りました。また、期間中に1,997名が受験し、受験者数も伸びています(昨年1,927名)。

今後とも学生の皆さんのスコア向上はもとより、受験促進に向けた方策を検討して参ります。試験実施にあたり、ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

SGU事業の進捗をお知らせするため、毎月1号の定期刊行を目指して本ニュースレターを発行しています。みなさまからのSGU関連情報もお待ちしています。

〈本ニュースレターに関する問い合わせ先〉
グローバル教育センター事務部(神屋敷)
内線: 81-9547
Eメール: globaledu@hosei.ac.jp

課外教養プログラム 開催報告

法政大学では、正課授業だけでは満たしきれない学生の様々な好奇心に応えるため、「課外教養プログラム」を運営しています。春学期は2つのプログラムをオンライン上で開催しました。いずれもコロナ禍の社会状況だからこそオンラインで法大生のニーズに応えられるプログラムとなりました。秋学期も様々なプログラムを開催予定ですのでお時間ある方はぜひご参加ください。

ホームページ：<https://www.hosei.ac.jp/gakuseishien/>

■ 課外教養プログラム「多摩キャンパスバーチャルツアー」



5月29日(金)、課外教養プログラム「多摩キャンパスバーチャルツアー」を実施しました。本プログラムは新型コロナウイルスの影響で大学への登校開始の見込みが立たなくなった中、オンライン上のみという想定外の大学生活や友人ができない環境に対して不安を抱える新入生の気持ちを和らげることを目的に実施しました。

プログラムの進行には Google ストリートビューを使用し、まるで現実の多摩キャンパスと一緒に歩いているかのようにして進められました。また、

多摩キャンパスの魅力を最大限感じられるよう、ツアー中の随所で学生スタッフ考案のクイズや施設内部の写真・四季の写真を使った紹介も行われました。新入生からの感想として以下のものが挙げられました。「バスの利用など日常生活のことを伝えてくれたので、キャンパスに行くのがさらに楽しみになりました。」「先輩方の説明はわかりやすく、質問も丁寧に答えてくださりました。」「普通に通っていたら気がつかないままだったかもしれない、知らなかった情報まで得ることができました。」

このような社会状況であっても、今回のプログラムをきっかけに新入生がより積極的に前向きに今後の大学生活に臨んでくれるようになれば幸いです。



■ 課外教養プログラム「あなたの身近な植物図鑑」



7月29日(水)に課外教養プログラム「あなたの身近な植物図鑑」を実施しました。本プログラムは普段は何気なく通りすぎてしまう“雑草”に焦点を当て、その名前や特性を学ぶとともに、あまり遠くへ出かけられない状況下においても身近な草花で日常を楽しむきっかけを作ることを目的としたものです。

プログラムでは、まず Zoom の「ブレイクアウトルーム」機能を活用し、参加者に事前に用意してもらった「通学路にある草花」の写真をもとにその

草花の印象や生えていそうな場所などをグループごとに話し合うワークを行いました。その後ワークで用いた参加者一人一人の写真について講師の方から解説をいただき、身近な草花の様々なストーリーや生き方を教えていただきました。プログラムの最後には雑草の生き方から私たちの人生にも活かすことのできるお話がありました。「自分の強みを見つけ、小さなチャレンジを繰り返す」「大切なことを見失わない」という雑草の生き方は、参加学生にとって今のコロナ禍の時代を生き抜くためのヒントとなりました。

本プログラムをきっかけに、あまり遠くへ出かけることができない今だからこそ、身近な植物に目を向け様々な学びを見つけてもらえる幸いです。



このような課外教養プログラムを企画・運営する学生スタッフを募集中です！詳細は裏面をご覧ください。

KYOPRO 学生スタッフ募集中!

学生センターでは本紙3面で紹介したような「課外教養プログラム」を運営する学生スタッフ「課外教養プログラムプロジェクト(KYOPRO)スタッフ」を募集中です。「教養」「学生支援」をテーマに、大学と協働でプログラムを企画してみませんか?学年を問わず、いつでも誰でも加入できます。現在はオンラインで定例ミーティング、プログラム開催を行っています。

- ・ イベントの企画・運営に興味がある方
 - ・ 大学生活打ち込める何かを探している方
 - ・ 新しいことを始めたい方
 - ・ 活動を通じて自分自身も成長したい方
- そんな方はぜひお問合せください!

過去の実施プログラム例:



【問合せ】学生センター多摩学生生活課

- ◆ 場 所 : EGG DOME 2 階
- ◆ T E L : 042-783-2152
- ◆ E-mail : tama.kyopro-owner@ml.hosei.ac.jp
- ◆ ホームページ : https://bit.ly/tamakyopro_bosyu
- ◆ SNS : @tama_kyopro (学生スタッフ Twitter)



多摩障がい学生支援室からのお知らせ

障がい学生支援室の学生サポートスタッフ募集について

多摩障がい学生支援室では、支援室に登録する学生サポートスタッフを募集します。多摩キャンパスにあるすべての学部の学生さんがスタッフとして登録しています。サポートスタッフは、必要な講座を受講した後に支援室へスタッフとして登録し、サポートが必要な学生の授業での支援活動に派遣されます。

これまで実施してきた支援活動には次のようなものがあります。

- ・ ノートテイク : 授業の内容を聞きながら要約し、文字に書いたり、パソコンで入力して、情報を伝え、聴覚障がいのある学生さんの耳となります。
- ・ 文字起こし : 字幕のない教材動画の音声部分を文字にして、内容を伝えます。

授業支援を中心とした支援室の活動の多くは、学生サポートスタッフによって支えられています。障がい学生支援活動に興味のある方は、支援室までお問い合わせください。



パソコンによるノートテイクをおこなっているところ

【問合せ】多摩障がい学生支援室

- ◆ 場 所 : 総合棟 2 階
- ◆ T E L : 042-783-4038
- ◆ E-mail : tmshien@hosei.ac.jp

多摩学生相談室からのお知らせ

～ with コロナの中で、後半戦を乗り切るために ～

今年度は、新型コロナウイルス対応という未曾有の状況の中、皆さんは一人でオンライン授業を受け、課題を提出し、友達との付き合いもままならない状態で、様々な戸惑いや不安を抱えながら過ごされてきたことと思います。

そのような中で始まる秋学期は、卒業・進級など今年度の仕上げに向けて目標や課題に一層取り組んでいく時期です。それに加え、今年は新型コロナウイルスの影響に伴う不安やストレスも大きいのではないのでしょうか。一人で悩みを抱えている時、すぐに解決に結び付かなくても、安心して聞いてもらえる相手に話すことで、その重みがやわらぐことがあります。話すことが新しい解決の発見に繋がったり、自己理解に結びついたりすることもあります。学生相談室のカウンセラーはそのような皆さんの話し相手になります。電話相談も可能です。個人的な秘密は守られますので安心してお申し込みください。

【問合せ】多摩学生相談室

- ◆ 場 所 : 総合棟 2 階
(キャリアセンターに向かって左隣り)
- ◆ 開室時間 : 月～金曜日
9:30～16:30
(11:30～12:30を除く)
- ◆ T E L : 042-783-2158



編集後期 (キャンパスライフ編集委員より)

スポーツ縦横無尽～歴史の旅に踏み出そう～

画面を見ればウィルスの影響を論じるニュースにぶつかり、活字を手にとって医療技術者の指摘が大きなスペースを占める。社会情勢が一変してこの方、スポーツ現場の活動も以前の状態から大幅に縮小してしまっただけで、スタジアムの観客動員にブレーキが掛かる現状に気持ちは萎えがちだが、用心深さを保ちながらもスポーツへの関心を失ってはならない。こんな時に、エネルギーを費やす価値があるのが、歴史を振り返ることだろう。年代を記憶するとか国際会議の名前を覚えるといった受験対策とは違った、自分の関心事に関わる過去の軌跡をたどる旅だ。FIFA 国際サッカー連盟の創立当初、イングランドがオリジナルメンバーに加わっていなかったのを知っているか。フライングディスクはポップコーン缶の蓋投げから始まったと聞いたことがあるか。頭の中で、好きな世界の歴史の扉に手をかけてみよう。そこには三密を意識することのない広大な空間が広がっている。

スポーツ健康学部教授 山本浩

● 2020年9月18日発行 第121号
編集: 法政大学多摩キャンパスライフ編集委員会
発行: 学校法人 法政大学
東京都町田市相原町4342番地
Tel : 042-783-2152
年3回発行



コロナに負けるな!

学生生活応援プロジェクト実施中!

法政大学では、コロナ禍にあっても学生の皆さんの充実した学生生活を止めないため、「学生生活応援プロジェクト」を実施しています。身近なものからグローバルなものまで、オンライン型・対面型（社会状況をみながら感染拡大予防を徹底しつつ計画します）など、学生生活を送る上でのヒントになるような様々なコンテンツを用意しています。ぜひ積極的に参加してください。

コンテンツ例 特集ホームページ：<https://www.hosei.ac.jp/pickup/article-20200915175322/>



多摩学生相談室からのお知らせ

～疲れた心身を休め、パワーを取り戻すために～

師走に入り、今年も残すところあとわずか…1年を振り返り、来年度の学生生活や、卒業後の過ごし方について考え始める時期でもありますね。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでにない1年になりました。春から続くオンライン授業、去年までとは違う生活様式の中で、心も身体も疲れてしまっているかもしれません。この状況の中でやれそうなこと、やりたいことを、焦らず探していきましょう。

今気にかかっている悩みや検討したい問題があれば、タイミングを逃さずに取り組むためにも、学生相談室を利用するのはいかがでしょうか。一人ではなかなか見通しがつかず行き詰まってしまう悩み事も、信頼できる第三者と話しながら考えてみると、整理できるかもしれません。相談の秘密は守られますので安心してご相談ください。

- ◆場 所：総合棟2階
(キャリアセンターに向かって左隣り)
- ◆開室時間：月～金曜日 9:30～16:30
(11:30～12:30を除く)
- ◆電 話：042-783-2158



編集後記(キャンパスライフ編集委員より)

君はえこびよんを見たか?

10月初旬の多摩。バーチャルリアリティーの世界から抜け出し、はじめてリアル対面した一年生を前に、わたしは軽い気持ちで問いかけた。えこびよん知っている? 大方の期待に反し、だが口を開く者はいない。知らないの? 知らない。20人の参加者には不釣り合いに大きい中教室に沈黙が広がる。入学から半年、はじめての対面授業となったこの日、私は事の重さを痛切に感じた。彼らはえこびよんすら知らないのだ。

かつてえこびよんGOは密かなヒットであった。オレンジニットを被ったうさぎはキャンパスの要所要所に鎮座奉られ、青春を謳歌する者を励まし、また時として人生をあきらめかけた疲れた大人をその永遠のほほ笑みで救済した。図書館のカウンターで日々がんばるその姿を見るにつけ、わたしはそっとかれらの頭をなでずにはいられなかった。

だが時代は変わった。今やその脇には消毒用エタノールが置かれ、ソーシャルディスタンスが叫ばれる。もはや容易に触れることは許されない。目の前にあるその存在のなんと遠いことか。マスク姿の人間がもはや見せ合うことのないその微笑。

経済学部教授 進藤理香子



● 2020年12月1日発行 第122号
編集：法政大学多摩キャンパスライフ編集委員会
発行：学校法人 法政大学
東京都町田市相原町4342番地
Tel：042-783-2152
年3回発行

2021 年度課外教養プログラムプロジェクト活動報告書

発行者：法政大学学生センター

住所：東京都千代田区富士見 2-17-1

印刷者：株式会社エイチ・ユー 学内印刷室

発行日：2021 年 6 月 15 日



法政大学・課外教育プログラムプロジェクト